

平成 22 年 5 月 7 日現在

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2007～2009

課題番号：19320086

研究課題名（和文）英語教員の質的水準の向上を目指した養成・研修・評価・免許制度に関する統合的研究

研究課題名（英文）Developing English Teacher Competencies: An Integrated Study of Pre-service Training, Professional Development, Teacher Evaluation, and Certification Systems

研究代表者

神保 尚武（JIMBO Hisatake）

早稲田大学・商学大学院・教授

研究者番号：60063781

研究成果の概要（和文）：2007年度は、教員免許更新制と英語教員の資質能力に関する全国調査を行った。結論（提言）を次の6点にまとめた。1. 現職教員の意見を十分に反映した教員免許更新制度の運用、2. 教員に求められる基準の明確化、3. 体系的な教員養成、新任教員研修、現職教員研修のシステムの構築、4. 教員評価・研修のための独立機関の設置、5. 大学及び教育機関の連携協力の促進、5. 教育予算の拡大。

2008年度は、英語教師の研修と評価の新しい枠組みを求めて全国の教育委員会に対する調査と教員養成に関する調査を大学の英語科教育法担当者を対照に行った。前者に関する主な結果は次の4点である。1. 英語科教員対象の免許更新講習・評価について：更新講習の体系的な運用とともに、教員の専門性基準の策定と研修・評価の新しい枠組み作りが、緊急の課題であることが確認された。2. 英語教員研修について：研修内容とそれに適した教師の経験段階の関係において、指導主事の意識の共通性がある程度把握できた。これらの共通性を参考に、経験に応じた研修項目のモデルを策定することが可能であると考えられる。3. 英語教員の研修評価について：授業力向上に結びつく実践的な内容で、教員が主体的、自律的に関わる研修項目は、教員評価制度の中で評価の対象にすべきであることが示唆された。4. 英語教員の段階別評価について：段階別評価に関する結果は、更新講習のあり方や、今後の教師教育のパラダイムシフトに向けた基準作りのひとつのたたき台として意義があり、将来的に段階別評価を策定することは可能であると言える。後者に関する主な結果は次の2点である。1. 英語科教育法の指導法の変化：少人数クラスの「ゼミ式」授業を展開し、指導案作成や模擬授業とその録画などの実践や省察を通して、実践的な外国語（英語）指導法を身につけることを目指した英語科教育法の内容を設定する傾向がある。2. 学習指導要領の改訂や政府の指針の影響：平成23年度から必修となる小学校英語活動の影響で、小学校英語教育に特化した科目の設置や、英語科教育法で早期英語教育を重点分野とする大学・短大の増加が顕著である。

2009年度は、英語教師の成長につながる日本版 EPOSTL (European Portfolio for Student Teachers of Languages) の開発に向けての研究を行った。EPOSTL の日本への文脈化をはかることにより、日本の英語教師教育、特に、英語教職課程履修生のための到達目標となる自己評価 Can-do 項目を含むポートフォリオを開発し、それを普及することを目的とした。その第1段階として、本研究では EPOSTL の自己評価 Can-do 項目の翻案を、英語教師教育のために作成することを目標とした。

研究成果の概要（英文）：In 2007, we conducted a national survey on the teacher certification renewal system. Results were as follows: Standards of approval and assessment for license renewal should be based upon consultations with in-service teachers and should be publicly accessible; Professional competencies or standards for teachers should be concrete; Further research into current teacher evaluation mechanisms used by all boards of education should be conducted with the final objective of developing a comprehensive, consistent nation-wide appraisal policy.

In 2008, seeking a new paradigm of professional development and evaluation of secondary English teachers, we conducted a survey on in-service English teacher training among local educational authorities and a survey on initial teacher education (ITE) among college instructors responsible for EFL methodology classes. The major results of the former survey were as follows : It is important that on-site training is maintained as a PD activity which is formally assessed in the appraisal system; Building a close partnership between universities and local boards/schools is one of the most significant challenges to improve teacher training system; Training programs should be designed and provided contingent on teachers' competence; Results of PD experiences and activities which foster teacher autonomy should be included in the formal teacher appraisal system. The results of the latter survey were as follows; More ITE providers seemed to have set acquisition of practical teaching skills as the methodology course and thus more courses are conducted in a small, seminar style class with ample opportunities for practical activities; The number of ITE providers increased markedly with the emphasis on early English education as one key area for teaching an EFL methodology course.

In 2009, we conducted a research on developing a Japanese version of EPOSTL (European Portfolio for Student Teachers of Languages). By adapting the EPOSTL to Japanese educational context, we will be able to provide the goals of ITE. We achieved the first step by creating the tentative Can-do list for Japanese student teachers of English.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	5,600,000	1,680,000	7,280,000
2008年度	3,900,000	1,170,000	5,070,000
2009年度	2,100,000	630,000	2,730,000
年度			
年度			
総計	11,600,000	3,480,000	15,080,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：言語学・外国語教育

キーワード：外国語教師養成

1. 研究開始当初の背景

2007年6月に改正教育職員免許法が成立し、2009年4月より教員免許更新制が導入されることとなった。

2. 研究の目的

英語教員の資質能力基準、養成・研修プログラム、評価システム、免許制度の基本的枠組み等に関し統合的に研究し、英語教員の養成から研修までのシステムを提案することとした。

3. 研究の方法

全国の現職英語教員、大学の英語科教育法担当者、教育委員会等へのアンケートや諸外国の事例と、国内の先進事例を調査研究する。

4. 研究成果

2007年度、2008年度、2009年度3月にそれぞれ報告書を公表した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計9件)

1. 神保尚武、久村研「英語教師に求められる力」「行動計画から「免許更新制へ」-」『英語教育』査読無 2009年7月号(第57巻第4号) pp.10-13.大修館書店
2. 臼井芳子「現職教員は講習に何を求めているか：全国調査データから」『英語教育』査読無 2009年11月号(第57巻第9号) pp.30-31.大修館書店
3. 大崎さつき「日本の免許更新制に求められる教員教育の基準化：海外の事例から」『英語教育』査読無 2009年11月号(第57巻第9号) pp.32-33.大修館書店
4. 久村研「スコットランドの教員教育をめぐる研究と考察」『田園調布学園大学

- 紀要』査読無第3号、pp.193-213. 2009年3月
5. 酒井志延, 高木亜希子 “Relationship between learner autonomy and English proficiency of Japanese learners” *The Journal of Asia TEFL*, 査読有 2009, vol.6, no.3, pp.297-325
 6. 酒井志延 「大学生の英語学習意識構造について」(上)『英語教育』査読無 2010年1月号(第58巻第11号) pp.62-64. (下)同2月号(第58巻第12号)大修館書店
 7. 久村研「今求められている英語教員像とは」『英語教育』査読無 2010年2月号(第58巻第12号) pp.10-13. 大修館書店
 8. 浅岡千利世「新指導要領下で英語教員養成は変わるのか」同上、pp.20-22
 9. 神保尚武、中山夏恵、大崎さつき「長期的視野に立つキャリア形成：英米の教員研修制度に学ぶ」同上、pp.23-25
 10. 高木亜希子「自立する教師を目指して：生涯を通じた教員養成を」同上、pp.28-30
- 〔学会発表〕(計17件)
1. 神保尚武、石田雅近、久村研、河内山晶子、高梨庸夫 “Introducing the Teacher Certification Renewal System in Japan: Problems and Prospects” The 5th Asia TEFL Conference, Putra World Trade Center, Kuala Lumpur, Malaysia, June 9, 2007
 2. 酒井志延、高木亜希子 “Teachers roles in developing learner autonomy in the East Asian region” The 5th Asia TEFL Conference, Putra World Trade Center, Kuala Lumpur, Malaysia, June 9, 2007
 3. 神保尚武、石田雅近、久村研、酒井志延 「教員免許更新制に伴う英語教員の研修・評価システムのあるべき姿を求めて」第31回関東甲信越英語教育学会千葉研究大会、2007年8月17-18日
 4. 神保尚武、石田雅近、久村研、河内山晶子、伊東弥香 「教員免許更新制の課題と展望－現職教員に対する意識調査に基づいて－」第46回(2007年度)大学英語教育学会全国大会、2007年9月8日
 5. 高木亜希子、中山夏恵、今村洋美 “Teacher Certification Renewal System: An analysis Based on a Nationwide Survey of Japanese Teachers of English” JUSTEC (Japan-United States Teacher Education Consortium:日米教師教育会議)第20回セミナー、2008年7月31日、佛教大学
 6. 酒井志延, 高木亜希子 “Promoting learner autonomy: Student perception of responsibilities in a language

- class in East Asia” August 27, 2008. International Association of Applied Linguistics, Essen, Germany
7. 神保尚武、伊東弥香、高梨庸夫 “A Teacher Certification Renewal System: Can it be a savior of English education in Japan?” 同上
 8. 高木亜希子、中山夏恵、今村洋美、臼井芳子、大崎さつき 「教員免許更新制と英語教員の質的能力－全国調査結果に基づいて」大学英語教育学会第47回全国大会、2008年9月11日、早稲田大学
 9. 久村研、河内山晶子、伊東弥香、Leonid Yoffe、前田隆子 「北米の教員免許・研修・評価制度の特徴と日本への示唆」同上、9月13日
 10. 久村研、大崎さつき、浅岡千利世、佐藤千津 「英国の教員養成・研修・評価制度の特徴と日本への示唆」大学英語教育学会関東支部第3回大会、2009年6月21日、青山学院大学
 11. 久村研、酒井志延、臼井芳子 「英語教員養成と言語教育政策」同上
 12. 久村研、石田雅近、河内山晶子 「ELPを活用した日本の英語教育実習生のためのCan-doリストの開発研究」全国英語教育学会全国大会、鳥取大学湖山キャンパス、2009年8月8日
 13. 酒井志延、中山夏恵 「メンター制度についての研究と日本の教育への示唆」同上、8月8日
 14. 中山夏恵、今村洋美、大崎さつき、清田洋一 「英語教員の研修と評価－教育委員会への調査結果に基づいて－」大学英語教育学会第48回全国大会、2009年9月4日、北海学園大学
 15. 石田雅近、臼井芳子、浅岡千利世 “Initial Teacher Education for English Teachers in Japan: Reappraising the Roles of Tertiary Education Institutions” 同上、9月5日
 16. 久村研、石田雅近、伊東弥香、今村洋美 “Seeking a New Framework of Initial Teacher Education, Professional Development, and Evaluation for Secondary School EFL Teachers in Japan” JUSTEC (Japan-United States Teacher Education Consortium:日米教師教育会議)第21回セミナー、2009年9月18日、ハワイ大学
 17. 酒井志延、清田洋一、高木亜希子、中山夏恵 “Improving Students Learner Autonomy in Japanese Educational Settings” 同上、9月19日

〔図書〕(計 1 件)

1. 神保尚武他 3 名(編集)(2010)『大学英語教育学 - その方向性と諸分野』英語教育学体系第 1 巻、大修館書店

〔その他〕

ホームページ等

<http://www.waseda.jp/asso-jacet.enedu/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

神保尚武(JIMBO HISATAKE)
早稲田大学・商学学術院・教授
研究者番号: 60063781

(2) 研究分担者

なし

(3) 連携研究者

久村 研(HISAMURA KEN)
田園調布学園大学・子供未来学部・教授
研究者番号: 30300007
石田雅近(ISHIDA MASACHIKA)
清泉女子大学・文学部・教授
研究者番号: 70146942
酒井志延(SAKAI SHIEN)
千葉商科大学・商経学部・教授
研究者番号: 30289780
ヨッフエ・レオニード(LEONIED YOFFE)
早稲田大学・商学学術院・専任講師
研究者番号: 80434265
鈴木利彦(SUZUKI TOSHIHIKO)
早稲田大学・商学学術院・准教授
研究者番号: 40433792
今村洋美(IMAMURA HIROMI)
中部大学・国際関係学部・教授
研究者番号: 10333171
河内山晶子(KOCHIYAMA AKIKO)
明星大学・教育学部・教授
研究者番号: 80350990
清田洋一(KIYOTA SEIICHI)
明星大学・経済学部・准教授
研究者番号: 6013843
伊東弥香(ITO MIKA)
東海大学・外国語教育センター・准教授
研究者番号: 20434201
浅岡千利世(ASAOKA CHITOSE)
獨協大学・外国語学部・准教授
研究者番号: 50327011
臼井芳子(USUI YOSHIKO)
獨協大学・国際教養学部・准教授
研究者番号: 40296794
高木亜希子(TAKAGI AKIKO)
青山学院大学・人間科学部
研究者番号: 50343629
中山夏恵(NAKAYAMA NATSUE)
共愛学園前橋国際大学・国際社会学部・

准教授

研究者番号: 50406087
大崎さつき(OSAKI SATSUKI)
創価大学・文学部・専任講師
研究者番号: 70546366